

背景・目的・対象地域

《背景》

- ① これまで経験したことのない猛暑や豪雨、台風に伴う自然災害などが、全国各地で生じています。2019年10月の台風19号の際に浸水予想区域に立地する羽沢小は風水害時に避難所として開設できないなど、防災上の大変な課題があることを改めて認識しました。
- ② 2019年11月、大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台(以下、国立天文台)より、今後の研究の継続・発展に向けた同敷地北側ゾーンの有効活用についての相談が三鷹市に寄せられました。
- ③ 三鷹の教育では、学校を地域の共有地「コモンズ」と位置づけ、地域の人財や資源が集い、活動できる場としての活用を目指しています。
- ④ 大沢地域では、以前より商業施設が不足しており、買物環境に課題がある状況です。

《目的》

国立天文台周辺地域を対象に、天文台敷地北側ゾーンの土地利用のほか、小学校等の将来的な跡地利用など、国立天文台とともにこれからも歩む長期的なまちの将来像も含めた検討をおこない、「土地利用基本方針」で定めたまちづくりの目標である「天文台の森を次世代につなぐ学校を核とした新たな地域づくり」を実現することを目的としています。

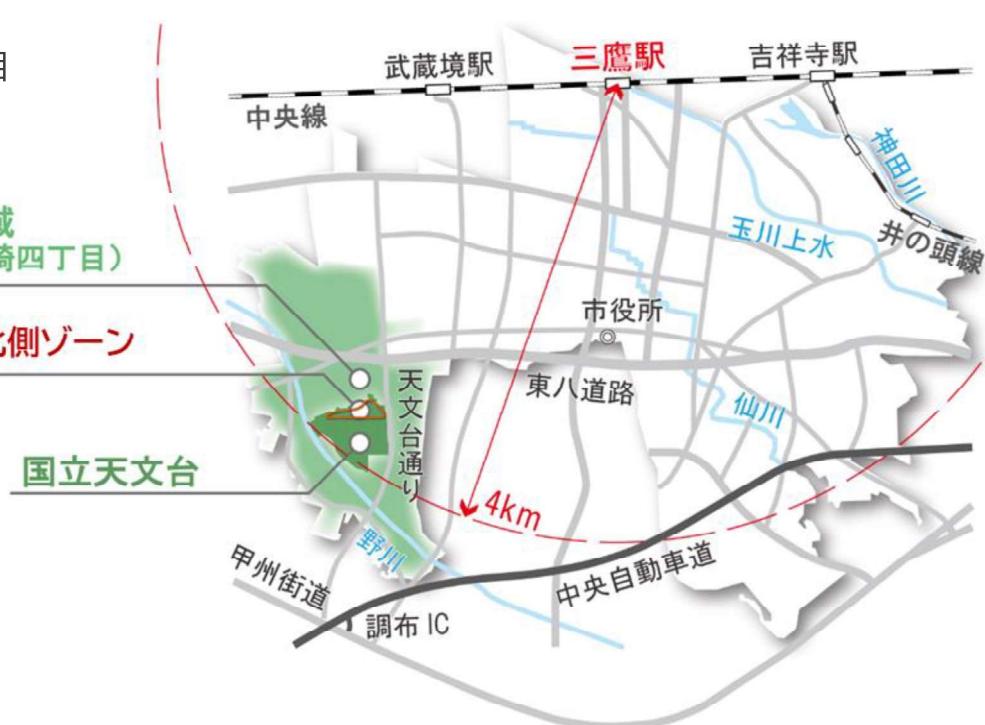
《対象地域》

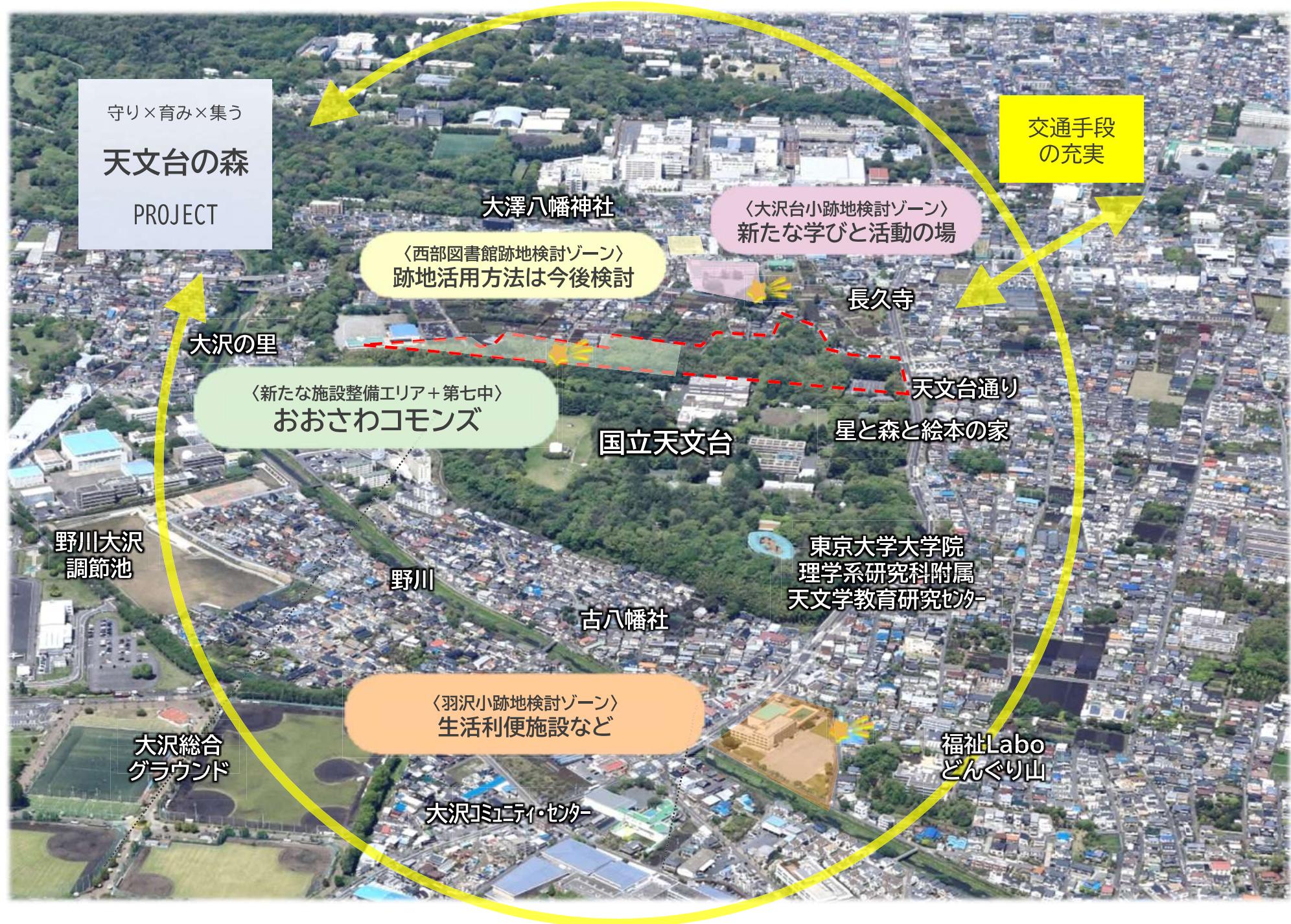
大沢地域・野崎四丁目

国立天文台周辺地域
(大沢地域・野崎四丁目)

天文台敷地北側ゾーン

国立天文台





構想1 「おおさわコモンズ」の創出とエリア全体のまちづくり



天文台敷地北側ゾーンにおける新たな施設整備エリアと七中敷地を地域の共有地「おおさわコモンズ」と位置付け、森の学校や多世代が集う居心地の良い交流の場、地域の防災拠点を創ります。また、小学校などの跡地利用や周辺の地域資源などを含めたエリア全体のまちづくりに取り組みます。

地域の共有地「おおさわコモンズ」の創出

【おおさわコモンズの主な機能】

① 天文台の「森の学校」

自然豊かな学習環境の中で、**国立天文台と連携した教育**が受けられる「森の学校」を創ります。

② みんなが集う地域の共有地

移転する西部図書館を中心に新たに設ける交流施設や「学校3部制」の考え方に基づき学校施設を活用して、**子どもから大人まで多世代が森の中に集う、居心地の良い交流の場**を創ります。

③ 天文台の森(北側)の次世代への継承

計画的な植樹・植栽や適切な維持・保全を行います。

④ 命と暮らしを守る防災拠点

地震・風水害など**あらゆる災害に対応**するとともに、在宅避難者の支援などにも対応した**新たな防災拠点**を創ります。



※ イラストはイメージです。

日常生活の利便性を高める「羽沢小跡地」の検討

① 商業施設の誘致により、**買い物不便環境の解消**

② 震災時の**一時避難場所の機能継続**

③ 野川の景観を生かしたカフェの検討

④ 公民連携を活用する整備の検討



乗降ポイント
大沢コミュニティ・センター



AI デマンド交通

ご予約は 0422-34-3055 (月~土 7:30~18:00)

詳細はこちらから 三鷹市都市交通課

地域の身近な交通手段のさらなる充実

大沢地域以外からも訪れたくなる魅力あるまちづくり

① AIデマンド交通の拡充

② 将来的な次世代交通手段の検討

構想2 あらゆる災害に備える防災・減災まちづくり



三鷹市防災キャラクターじじょまる

震災時はもとより、地域が抱える風水害等あらゆる災害に対応できるよう、おおさわコモンズは、命と暮らしを守る防災拠点と位置づけ、**新たな三鷹市の避難所・避難場所のモデルとなるよう検討します。**

「公助」の取組のほか、自らの生命は自らが守るという防災の原則である**「自助」**、地域における助け合いにより、自分たちのまちは自分たちで守る**「共助」**により、総合的に防災・減災まちづくりを進めます。

災害対策の基本

自分の命は自分で守ること



近くの人たちと
助け合うこと

市役所や消防署
などが取り組むこと



おおさわコモンズ全体が防災拠点に

- ① 地域の災害対策活動の拠点
- ② 災害時における施設の機能転換
- ③ 良好的な避難生活のための施設の工夫
- ④ 在宅避難者に対する支援拠点
- ⑤ 車両での避難も想定したおおさわコモンズの整備



野川周辺の防災・減災まちづくり

おおさわコモンズで新たな**防災拠点づくり**に取り組むとともに、**野川周辺の防災・減災まちづくり**も並行して取り組みます。

- ① 羽沢小の一時避難場所機能の継続
- ② 浸水被害や土砂災害に備える家づくり・まちづくりの啓発・指導
- ③ 防災意識の周知啓発と実効性のある避難方策の検討



大沢野川調節池 〈令和元年台風19号による状況〉



野川相曾浦橋付近 〈令和3年8月豪雨による状況〉





三鷹市 防災マップ

DISASTER PREVENTION MAP OF MITAKA CITY

三鹰市防灾地图

(表面は、「三原市浸水ハザードマップ」となっています)

わが家の防災メモ 各家庭で記入しましょう。

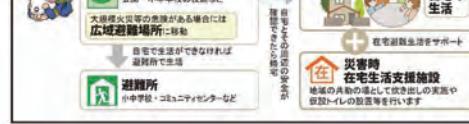


卷之三

「災害が起きたら避難所に行くしかない」その通りに思っていませんか？でも避難所で暮らすことは選択肢のひとつに過ぎません。避難所では環境の変化などによって体調を崩す人もいます。
住まいの防災対策や災害備蓄を行うことで、可燃性限り在宅避難ができる準備を整えましょう。
※自宅周囲に土や砂や土の災害がある場合には、安全な場所への避難が必要です。

地震だ！ 火災の危険・倒壊の危険

An illustration of a person in a green suit standing next to a red cross symbol. To the right, there is Japanese text: '在宅避難' (In-home evacuation) and '自宅で' (At home). The background shows a simple interior room.



少し多めに備える日常備蓄



ういちむなんばしょ

災害発生直後、火災などの二次災害から逃れるため、一時的に避難をする場所です。避難した人の安全を確保できるスペースを持った公園や学校の校庭などが指定されています。地図による避難先の指定はありませんので、近くの避難場所と安全な避難路を確認しておきましょう。



 ひなんじょ
避難所

災害によって、自宅の倒壊などそのため、自宅での生活が困難になってしまった場合、またはこれから被害にあう可能性がある場合は、一時的に避難生活を送るためにの施設を用意しておきましょう。あわせて食料や生活物資の配給などを行う形になります。

市内学校やコミュニティーセンターなど、隣権のある施設が指定されています。

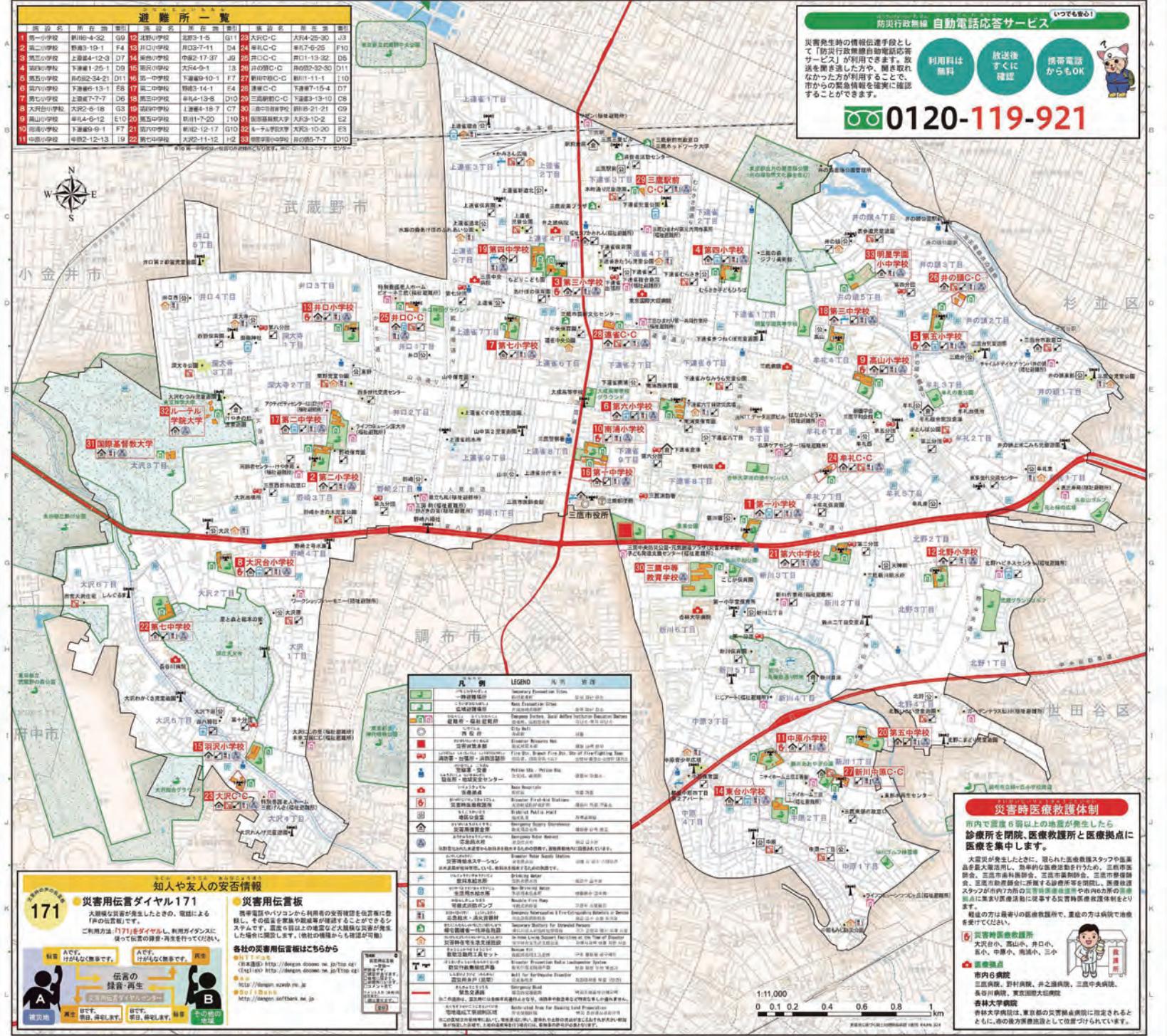


大規模な震災が発生した場合、交通機関が津波を防ぐための間、帰宅困難者として避難所に避難する。避難所とは異なる一時滞在施設です。

災害時に活用できる支援施設



地震 その時10のポイント



三鷹市 浸水ハザードマップ

みたか かれい し は ざ と ま う ぶ

FLOOD HAZARD MAP OF MITAKA CITY

三鷹市浸水緊急避難地図 ミタカシ 汚水 避難 地図
(素描は、「三鷹市防災マップ」となっています)。

このハザードマップは、1,000年に一度降るような大雨（総降水量690mm、時間雨量153mm）が降った時に、想定される「浸水する区域」及び「浸水の深さ」などを示したものです。お住まいの場所や職場などの浸水リスクを把握するとともに、いざという時に備えて避難方法や避難場所を確認してください。

発令する避難情報

市は、大雨などにより避難が必要な状況になった場合は、下図のとおり警戒レベルを付した避難情報を発令します。



警戒レベル	状況	避難情報等
5	災害発生または切迫	緊急安全確保 (三鷹市が発令) 警戒レベル4までに必ず避難!
4	災害のおそれ高い	避難指示 (三鷹市が発令)
3	災害のおそれあり	高齢者等避難 (三鷹市が発令)
2	気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁が発令)
1	今後気象状況悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁が発令)

① 区域内に災害の発生に備えきれるものではない雨の理由から、警戒レベルは必ず発令される範囲ではあります。
② 警戒レベル3は、高齢者以外の人にも必要な際の行動を告げたり、避難の準備をしたり、危機を感じたら自主的に避難するタイミングです。

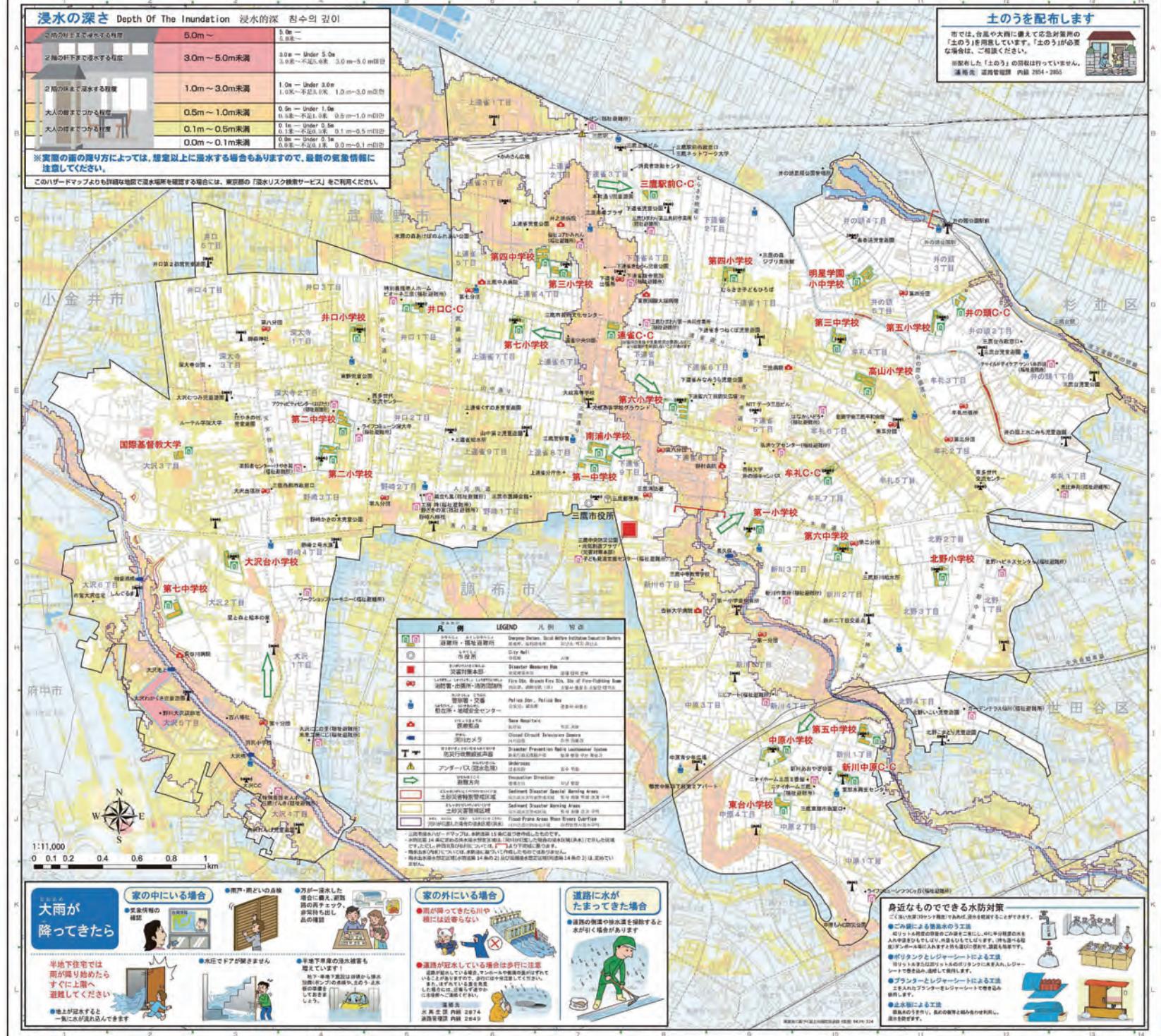
**情報収集は
こちらから**

- テレビ・ラジオやインターネットなどで正確な情報を入手しましょう。
また、市民の皆さんからも情報提供をお願いします。
- 三鷹市ホームページ**
三鷹市の情報はまちからをチェック
- 三鷹市河川防災情報**
野川・川辺川の水位を確認できます。
- テレビのデータ放送**
テレビのリモコンのボタンを押すと、河川の水位や避難情報などを確認できます。
- 気象庁ホームページ**
最新の天気予報や気象情報を確認できます。
- キックル(気象広報)**
大雨による土砂災害・浸水・洪水の危険度の高さを毎日、5段階に分けて地図上にリアルタイムに表示します。
- 水防災総合情報システム(東京都)**
都道府県河川(野川・川辺川)の水位をリアルタイムで見られます。
- 三鷹市安全安心メール**
防災情報を含む三鷹市の安全安心メール配信サービスです。
次回コードからメールを送信し、送信されたメールから登録してください。
- X(エックス)【旧Twitter】**
携帯電話の二次元コード読み取り機能やスマートフォンの専用アプリで読み取るX(エックス)【旧Twitter】へ登録します。

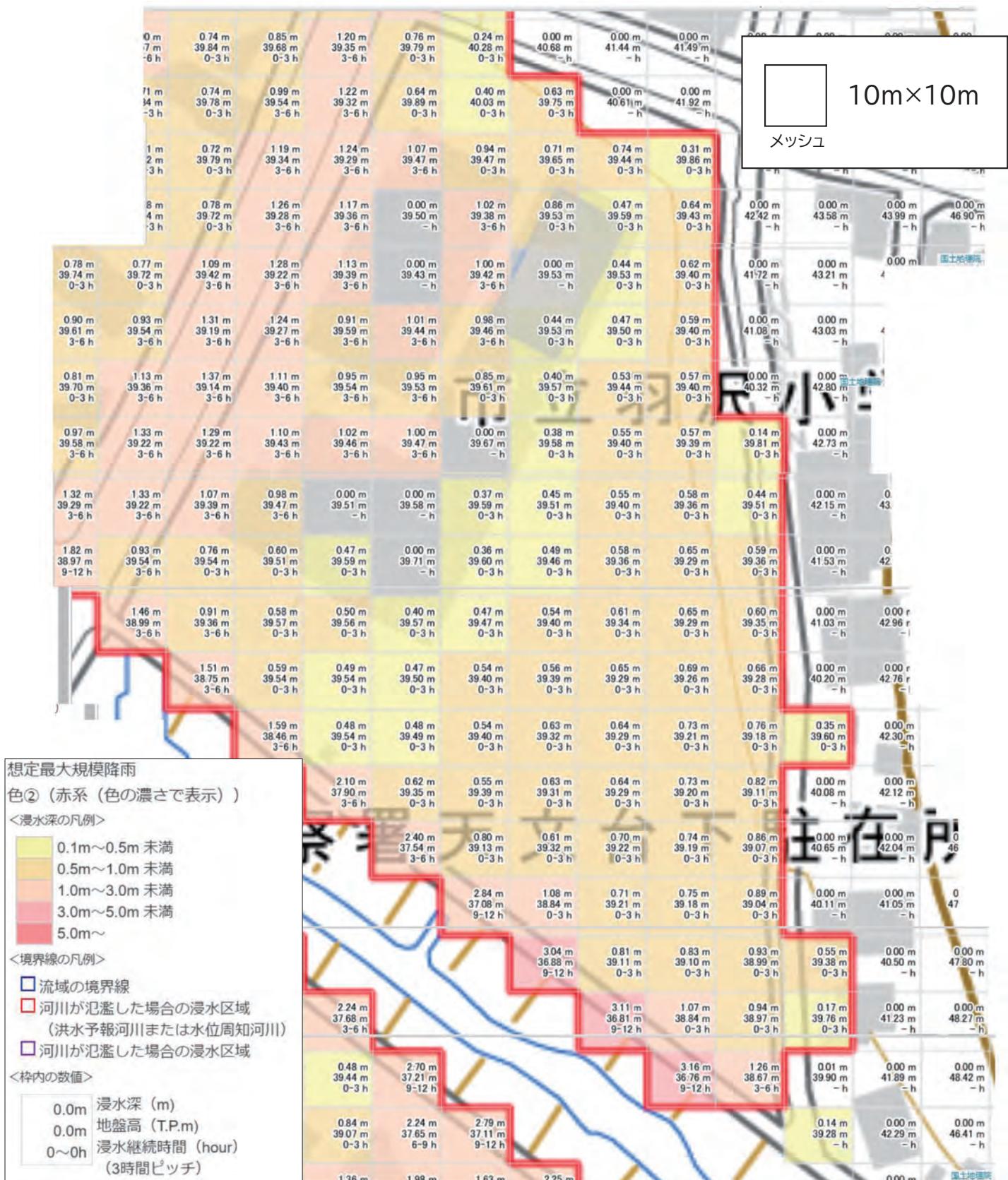
大雨に対する事前の備え

ご協力をお願いします

- 「雨水出す」の準備**
雨あさずの取口が詰まると、道路冠水や浸水の原因になります。日頃から排水溝の清掃に協力お願いします。
- 物を置かないでください**
「雨水出す」監視装置の上に車輪入りブロックなどを置かないよう、ご協力をお願いします。
- 大雨の時は、水の使用を控えて**
洗濯の跡などは、雨がんでもからにするなどのご配慮をお願いします。
- 雨水流出抑制**
市では、道路や公共施設透水性舗装や透溝を設け雨水の流出抑制を行っています。 infiltrate(浸透)するように、施設建設や透溝設置の段階でご協力をお願いします。



浸水予想区域図(羽沢小周辺)



◆ご自宅付近などの詳細は、「浸水リスク検索サービス」でご確認を⇒

●と記入付近などの詳細は、「浸水リスク検索サービス」と記述と、
　　浸水リスク検索サービスは浸水予想区域図等を基に、豪雨時に予想される
　　浸水深や浸水範囲等の『浸水リスク』に関する情報を、国土地理院等の電子地図上に表示し、地図や住所から簡単に調べができる東京都建設局によるインターネット上のサービスです。地図上のメッシュサイズは、10m×10mで表示されます。

東京都建設局
「浸水リスク検索サービス」

